



たちばな

中川雨亭先生書

同窓会会報

編集・発行

大阪府立河南高等学校同窓会
(たちばな会)

〒584-0038

大阪府富田林市錦ヶ丘町1-15

大阪府立河南高等学校内

事務局 電話 0721-23-3321

FAX 0721-23-3321

伝統誇る

河南高等学校

母校 創立一〇〇周年！

記念日まであと二年

幕末から維新を経て、今年話題の坂本龍馬や明治の元勳伊藤博文等、多くの傑出した人材を輩出し、近代日本の夜明けとも言えるのが明治

の時代。「多くの欠点を持ちつつ、偉大」と言いようが無い」と司馬遼太郎をして言わしめた明治も、四五年をもつてその幕を閉じた。この年、母校河南高等学校は、南河内郡立実科高等学校として開設された。しかし、母校は、来る平成二十四年をもって創立一〇〇周年を迎えることとなる。

が、実は、母校の原点は、これを三十数年遡る明治八年の女紅場の誕生に在る。

詳細は四頁で記述するが、今から一三五年も前に、既に母校の前身たる女子教育機関が南河内の地に産声をあげているのである。



女学校校舎(昭和4年頃)

平成22年度総会のお知らせ

どなたでもお気軽にお越し下さい。
多数のご参加をお待ちしております。

開催日：平成22年7月11日(日)

時 間：総 会 午前11時00分～午後1時30分

懇親会 午後1時30分～午後4時00分

会 場：天王寺都ホテル(JR・地下鉄天王寺駅東口)

大阪市阿倍野区松崎町1-2-8

TEL:06-6628-3200

懇親会会費：7,000円(当日頂きます)

(総会のみに出席の方は不要です)

議 題：事業報告・会計報告・役員選出
事業計画(案)・収支予算(案)講演・コーラス：総会の後半、懇親会までの間に
講演とコーラスがあります。

講演：テーマ 「西国巡礼の起源と河南Ⅱ」

講 師 上野 勝己氏(9期生)

(元太子町立竹内街道歴史資料館館長)

コーラス：河南高校同窓会(たちばな会)合唱団

◎総会又は懇親会に出席の方は必ず同封のハガキにて6月23日(水)迄必着でお知らせ下さい。

◎駐車場は確保しておりません。電車等の公共機関をご利用下さい。

◎懇親会に出席の方は、酒食を伴いますので、お車での来場は絶対にお避け下さい。

長く貴重な歴史に思いを致し 記念事業に格段のご協力を！

余談になるが、この年、明治四五年に、初代通天閣が建設されている。パリのエッフェル塔をモデルにしたといい、展望台からは六甲生駒等が一望できたとのこと。

史は長く貴重である。この、歴史と伝統を誇る河南高等学校の創立一〇〇周年を記念し、平成二十四年には、記念事業が持たれることになっている。その趣旨、内容等

年記念事業に対し、格段のご協力をお願い申し上げます。
次第であります。
(編集委員長
一五期 芝池 正明)

この後、富田林高等女学校付設裁縫学校を経て、明治四五年に、南河内郡立実科高等女学校となり、この年をもって創立としていることから、平成二十四年が創立一〇〇周年といふことになる。

又、お笑いブームの今日、笑いの殿堂として、芸能の一大金字塔を築き上げた吉本興業が、天満天神裏で創業したのもこの年である。ともあれ、一〇〇年の歴史

は、七頁の趣意書のとおりであるが、同窓会会員諸氏におかれては、これを機会に、母校河南高等学校の、長く、貴重な歴史と伝統に、改めて思いを致し、その誇りを今一度噛みしめて頂きたい。と同時に、一〇〇周年

同窓会の活性化のため 地域別の組織作りを！



同窓会会長
松井利夫
(五期生)

たちばな会の皆様には、益々清祥のこととお慶び申し上げます。平素より母校河南高等学校及びたちばな会のために、何かとご支援ご協力戴き有難く感謝申し上げます。私は去る平成二十年六月十五日の総会に於きまして、近森会長の後任として、会長に就任させていただきました。近年創立百周年を迎える、歴史と伝統に培われた河南高等学校同窓会会長として、その責務の重大さを痛感しております。誠に微力ではありますが、皆様のご協力を得まして、組織の充実と活性化に向かって取り組んでいきたいと願うばかりであります。

たちばな会の目的は、会員相互の親睦を深め、会員と母校の関係を親密にし、母校の発展と公共の福祉に寄与することと表記されています。本校の玄関の右庭には「絆」という文字が大きな石に力強く刻まれています。お互いの友情と団結がいつまでも続き進展していくことを願う言葉であります。

創立百周年の記念行事を計画しています。行事の一環として同窓会館の改修工事が挙げられます。現在の建物は、著名な建築家村野藤吾氏の設計によるものであり、世間に誇り得る建造物であります。改修に当たっては、設計者の作品に対する意思を損なうことなく充実させ、同窓生の誰もが、何時でも気軽に利用できる場にししたいと思います。

先ず、同窓会組織の充実に計るには今後どうあるべきかを考えた時、現在は各学年ごとによる横の繋がりのみで、一部のクラブ活動を除けば縦の繋がりがありません。縦の繋がりを作るためには、地域別による組織作りが必要不可欠と考え

られます。近隣に居住している方々でも、どこで会っても親しく挨拶を交わし合える環境作りへと取り組んでいる現状です。又、二年

河南高等学校同窓会 (たちばな会)

役員名簿

校同窓会

(たちばな会)

名簿

- 西野 正俊 (5期)
- 藤本 修 (7期)
- 水郡 理恵 (8期)
- 伊庭 美智子 (8期)
- 井元 純子 (9期)
- 北宅 実 (9期)
- 中野 光子 (10期)
- 村元 良昭 (15期)

幹事

- 三浪 夏実 (女35期)
- 大保 雅嘉 (5期)
- 内山 雅展 (5期)
- 森本 巖 (6期)
- 藤井 定夫 (6期)
- 京谷 昌子 (6期)
- 松井 毅 (6期)
- 豊田 圭郎 (9期)
- 上野 勝己 (9期)
- 石井 清一 (10期)
- 山口 直文 (10期)
- 杉本 孝 (10期)
- 八木 秀子 (12期)
- 西嶋 洋太郎 (12期)
- 小寺 博 (13期)
- 江川 忠幸 (14期)
- 恵島 明 (14期)
- 山口 哲生 (15期)
- 筒井 京子 (15期)
- 橋本 佳和 (16期)

堤 好孝 (16期)

梅川 喜久雄 (16期)

西條 政夫 (16期)

峰 祐子 (17期)

道田 憲逸 (18期)

石田 正人 (18期)

井関 醇一 (18期)

福田 実 (19期)

藤井 好徳 (22期)

辻 伸佳 (23期)

池谷 茂隆 (25期)

池田 敏光 (30期)

○ 役員の他、順次各学年に学年幹事、クラス幹事を組織しつつあります。

○ 以上の役員は、同窓会の活性化を目指し、日々努力しています。

○ 事業委員会、企画委員会、財政委員会、組織委員会及び総務委員会の五つの委員会を設け、各々の活動を行っています。

○ 活行事業の一環として、たちばな会合唱団を組織し、活発に活動を行っています。

○ 幹事の無い期について幹事候補を募ります。幹事としてご協力頂ける方、自薦他薦を問いませんので、事務局まで情報をお寄せ下さい。

「たちばなの会」の皆様におかれましては、平素より河南高校の教育にご理解・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご存知のとおり、皆様が青春を過ごされた母校は、平成二四年に記念すべき一〇〇周年を迎えます。

一口に百年と言いますが、毎年新たな生徒が入り、勉強し身体を鍛え、友を作り、有意義な高校生活を送り巣立っていく、この

高校としての営みがしつかりしているからこそ、河南高校は歴史的な一頁を迎えようとしているのだ、と少ししみじみ感じております。

私は昨年、民間企業から第二六代目の校長として着

任致しましたが、生徒達が素直で挨拶もしつかり出来ていることに感心しました。自分自身が高校を卒業して随分長い間、学校から遠ざかっていましたので「浦島太郎」の状態で現職につき

り前にやる」ことの重要性を再認識させられた次第です。

しかしながら、本校と同様な歴史を誇る高校でも、学力の低下や生徒指導上大きな問題を抱える学校に変

方々の支持を失いかねません。校長として守るべきところと変えていくところのメリハリをつけて学校経営に取組んでまいります。学校の取組みの成果は一人ひとりの生徒達です。彼・彼

守るべきところ

変えていくところ

メリハリをつけた学校経営を！

「当たり前前のことを当たり前前にする」

ことの重要性も再認識



河南高等学校校長
柳井 淳

ましたが、生徒達の学校生活を見ていますと、時代の相違を感じるどころかクラブ活動や行事に熱心に取り組むその姿勢にどこか安心感を覚えました。河南高校で「あたり前のことをあた

化したところもあります。時代の変化は日々着実に起こっています。学校を取り巻く社会の変化に敏感になっ

て、生徒の変化に応じた教育を実現できなければ、これまで本校を支えて頂いた

ために、一〇〇周年に向け、何かとご協力を仰ぐこととなろうかと存じますが、その節には何卒宜しくお願ひ申し上げます。

女達が一〇〇周年までの三年間で、これまでの伝統を守りつ、エポックメイキングな成果をあげてくれることを期待しています。

また、「たちばな会」の皆様には後輩達の

各種証明書の交付に手数料が掛かります！

大阪府立の高等学校では、平成22年6月1日から卒業証明書や成績証明書等の交付に手数料（1通つき400円）を徴収することとなりました。

詳しくは、河南高校のホームページに掲載しておりますので、必要な方は事前にホームページを確認の上「証明書交付申請書」をプリントアウトして、必要事項を記入し現金又は郵便定額小為替を添え身分を証明する書類等を持って学校窓口に応じ込んでください。

特に、遠隔地から郵送により申請する場合は時間を要しますので、余裕を持って手続きをしてください。

なお、不明な点がありましたら、河南高校事務室（河南高校：0721-23-2081）までお問い合わせください。

再発見

スリー

をめざして！

今回は 河南高校の 歴史再発見

伝統校！河南高等学校！
何とその萌芽は

既に明治八年に！

産声をあげ
て今年で既
に135年

同窓会再発見シリーズの掲載も今回で三回目となった。一回目は同窓会の魅力について語った。二回目は同窓会行事への参加を呼びかけた。今回は、母校創立百周年まであと二年と迫ったことから、母校の足跡について紹介し、伝統校たる河南高校の歴史の一端を再発見して頂こう。

今年のNHK大河ドラマ

は、ご承知のとおり龍馬伝。坂本龍馬の人氣はものすごく、龍馬ゆかりの地は、どこも人で溢れているとニュース等では伝えている。

江戸幕府最後の將軍「徳川慶喜」。この徳川第一五代將軍が、時の命運に抗することあわず、官軍に江戸城を明渡し水戸へ退去したのが明治元年四月。この年七月、江戸は東京と改まった。ここに徳川幕府二六〇年の栄光はついに終焉を告げることとなる。

薩長同名を成立させ、政権を幕府から朝廷へ奉還させた最大の功労者の龍馬は、僅かの差ではあるが、惜しくも明治元年の維新政府の成立に立ち会う事が出来なかったのは痛恨の極みであ

ろう。

ここで、龍馬について語る訳では無いが、龍馬あつての明治新政府の成立であつた。実は、こ

の明治新政府成立の八年後に、何と、既に河南高校の萌芽が表れているのである。

明治八年の富田林女紅場の開設がそれである。女紅場（「によこうば」）又は

「じょこうば」というのは、明治初期の女子教育機関とされている。わが国の教育の基礎は、明治五年の学制発布によって築かれたが、わずか、その三年後に、



女学校第1回卒業記念写真(大正3年3月)

現堺市に次いで、郡部である富田林に女子教育機関が設置されたことは特筆に値しよう。

当時の学校建営は、校地の提供や運営費を含め、ほとんど全てが地元の負担である事を考えると、地元南河内は、誠に師弟の教育に熱心な土地柄であつた証左であろう。この明治八年に母校が産声をあげてから数えると、河南高校は、今年で既に一三五五年の貴重な歴史を持つ事になるのである。

女紅場

は、その後、堺県庁（当時富田林は堺県に属していた）から、原則廃止の通達があつたが、地元の強い要望によ

り、富田林女紅場は存続が許され、地域の要請に応えた教育機関として任務を果たしつつ、明治三九年四月に、富田林高等小学校付設裁縫学校に改編された。

因みにこの年、明治三九年は、ちょうど夏目漱石が雑誌ホトトギスに「坊ちゃん」の連載を始めた年である。

その後、明治四五年に、南河内郡立実科高等女学校に改編されたが、実は、この年をもって母校河南高等学校の創立としており、この年から数えて、来る平成二四年が、一〇〇周年ということになるのである。

母校はその後、大正八年に、大阪府南河内郡立河南高等女学校と改称し、大正九年の、大阪府河南高等女学校への改称を経て、大正一〇年に、郡立から府立に移管となつた事により、大阪府立河南高等女学校となり、更に昭和三年、大阪府立富田林高等女学校となつた。

しかして戦後、昭和三三年、学制改革により、大阪府立河南高等学校として発足し現在に至っている。

かくのごとく、母校河南高校は、明治初期から平成の今日に至るまで百年を越える長きにわたり、地元の教育に対する熱き思いに支えられ、南河内地域の師弟

の教育に貢献しつつ、大いなる伝統を培い、歴代教職員の方々の懸命のご努力と地元及び関係各位のご支援ご尽力のもと、三万余人の卒業生を送り出し、多くの有為の人材を輩出し、これら同窓生は社会の様々な分野で活躍している。

一口に百年と言っても、この間には各々の時代背景のもと、学校建営には幾多の困難や苦労があつたことであろう。これらを乗り越え、一世紀の長きにわたり、河南高校の伝統を守り育てて来た先人関係者各位に、心からの謝意を捧げたい。

来る、平成二四年には、この貴重な一〇〇周年を記念し様々な記念事業が行われる予定である。明治八年の、母校の萌芽以来、南河内地域の師弟の教育に情熱を注がれた、先人の偉業を顕彰する意味でも、このような記念事業が行われる事は、大いに意義のある事である。

募金を含め、百周年事業に対し絶大なるご協力を賜りたく、心からお願ひ申し上げます。

（編集委員長

一五期 芝池 正明）

活性化の要！合唱団

100周年に向けて100人が目標

世代を越えて
和気あいあいの練習



パート
更なる活性化

合唱団

活動報告

15期 川之上 政子

同窓会たちばな会会員の親睦と会の活性化の一環として結成されたこの合唱団は、ちょうど三年がすぎました。幼かった頃に歌った春には春の童謡・唱歌等を歌っていた二年間お互いの気心もわかり合えました。

平成二十年度のすばるホールでの総会。PTA・OB・コーラスとのジョイントで富田林市民ふれあいまつりの屋外ステージ。昨年六月より指揮鈴木紀子先生・ピアノ伴奏石川七津子先生に指導していただく事になり、十一月には十二期卒業五十周年の同窓会に招待いただき日航ホテルで歌わさせていただきました。足手まといの私達ですが、とても熱心な先生方のご指導でぐーんと上手になった気分です。ハーモニーの楽しさにはまっています。

平成二十二年度の天王寺都ホテルで行われる総会に向けて、今とてもステキな

たちばな会のコーラスのみなさんとは、月2回一緒にコーラスを楽しんでいます。元気に歌って下さるばかりで、毎回私がパワーをいただいています。とりあえず声を出して歌ってみると、とっても楽しいですヨ。歌を通していろんな方々となつがってみましょう！

ピアノ伴奏 石川七津子

“歌う”という言葉の語源は「訴える」という言葉からきているという説が有力だそうです。一人一人の心が歌声となって調和(ハーモニー)を大切にする事により、コーラスになります。「たちばな会」は明るく楽しく元気にをモットーとした老若男女を問わないアットホームな合唱団です。これを機に新しい友の輪を広げてみませんか？皆様のご参加を心よりお待ちしております！

指揮 鈴木紀子

曲を一生懸命練習し、ステージを目標に一步一步歩んでいます。日々の練習でみなさんが元気になっていただきたいです。私達を指導していただいているお二人の先生方からのコメントです。

そして発足当時から欠かさず練習に来ていただいている五期生のお二人からのメッセージです。

『私達が合唱団に参加して、早三年が過ぎました。卒業してから五十年を過ぎ、「大丈夫かな？」「声が出るかな？」など不安な気持ちでの出発でしたが、発足の日に同窓生に出会い、一瞬の間に高校生だった昔にタイムスリップしてしまい、不安も少し薄らぎました。』

指揮の先生とピアノ伴奏の先生は、私達中高年のメンバーを励ましたり、おだてたりして一生懸命に指導して下さいます。又折に触れて聞かせて下さる先生の御声の素晴らしさにウットリしてしまいます。こうして、三歩進んで、二歩退る状態ながらみんな和気藹々で練習時間は瞬く間に過ぎ、私達にとって何よりの時間になっています。先日少しの恥じらいとときめきを感じ

しながら、日航ホテルでの十二期生の同窓会で歌わせていただきました。意欲的な指導者に恵まれ、熱心なメンバーと共に、心身ともにリフレッシュ出来るチャンスを作っていただいたことに感謝しつつ、御一人でも多くの同窓生の方々に参加していただき体験されることをぜひお奨めしたいと思います。』

五期生 須田 史寿子
梶島 由紀子

河南高校同窓会合唱団員募集

河南高校同窓会の皆様
合唱団にご参加下さい!!

発足4年目を迎えました。現在30名が2年後の創立100周年に向けて100人の合唱団を目指しながら混声合唱で楽しく練習しています。

皆様のご参加をお待ちしています。

練習：毎月第1・第3水曜日
午後1時15分～3時15分
会費：月額1,000円
場所：同窓会館たちばな会館
資格：同窓会員ならどなたでも可。年齢は問いません。
指導：指揮 鈴木 紀子 先生
ピアノ伴奏 石川 七津子 先生

*①練習日にはいつでもお気軽にご見学においで下さい。お待ちしております。

*②お申込・問い合わせ

毎月水曜日 1時～4時(ただし第5水曜日は休館)

同窓会事務局 TEL&FAX: 0721-23-3321

(担当) 中野和子(15期) 川之上政子(15期)
島崎光代(27期)

紹介します 各界で活躍あんな人こんな人

各界で活躍の方をちょっと紹介するコーナー。シリーズ3回目の今回は、老人介護者の会のお手伝いをする事に余生を捧げるとおっしゃる、5期の大保様を紹介。その心情を寄稿の形で語ってもらった。

去年七十五歳を迎え、後期高齢者の仲間入りをしました。後期とは別名、長寿とも言い又老捨とも申すそうです。七十五歳ともなれば第二の人生はおろか、第三の人生の中途にさしかかった

ております。余り先は長くありません。二三年前からぼんやりとボランティア活動に踏み込み、去年から一念発起、余生を捧げるべく本格的に活動を始めました。内容は老人介護者(家族)の会のお手伝いをする事です。家庭で老人を介護している方、やむを得ず病院や老人施設等に預けておられる方、又すでに老人をみとつた方等様々な人が入っておられるグループ(団体)の活動を援助者としてサポートすることです。中でも家族の会の活動の一つの柱として広報活動があり、その中心事業に介護者だよりの発行があります。約二五〇〇部の発行でA3版、両面刷り、毎月発行です。毎月となると記事の収集等全く大変の一語につきます。記事が間に合わない時は新

ボランティア活動に寄せて

「閑話一題」

五期生 大保 雅嘉

聞記事の転載(新聞社の申請が必要)等考えます。時には編集担当者がなんとか辻褄を合わせるべく記事を補うこともあります。さて、話は飛躍いたしますが、たちばな会も二年に一度会報の編集、発行を行っております。A4、12ページ、大変です。編集の中心になつておられる方々の苦労がしのべれます。将来毎年発行ともなれば体制の充実等が必要となりましょう。ただ現在は11号、12号にみられるように記事の投稿者が五期、十五期生に多いように見受けられます。いつまでも続きません。致し方ないことだとは思いますが、もう少し広く網羅するとか何か良い工夫はないものでしょうか。例えば学年別とか、学年をピックアップするとか、又輪番制にするとか一考が必要でしょう。いいながら小生も又今回投稿しておりますが、話に戻りますが、しばらく(余生)の間家族の会の活動の一助に微力をつきたいと思ひます。

創立100周年記念事業に向けての 手作り作品バザーの開催

平成24年秋に創立100周年記念事業が行われるにつき、手作り作品のバザーを同窓会会員の皆様で開催しましょう!(開催予定は平成24年9月母校の河南フェスティバルにあわせる)

つきましては皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。収益はもちろん100周年記念事業の基金に加えさせていただきます。

内容

- ①毎月第2、第4水曜日に同窓会館(たちばな会館)にて皆様で楽しくおしゃべりしながら作品を作りましょう!(ミシン縫い、手縫い、手編みなど…)
- ②お宅で不用となっている布地、毛糸など提供して下さい。(作品が作れるものであれば何でも結構です)
- ③手作り作品の指導、アイデア、見本を提供して下さい。
- ④もちろん手作りしていただいた作品を提供していただく事も大歓迎です。

【問い合わせ先】

同窓会事務局 TEL&FAX 0721-23-3321
(第1水曜～第4水曜 13:00～15:30)

【担当】

伊庭美智子(8期) 水郡理恵(8期) 井元純子(9期)
中野光子(10期) 中野和子(15期) 川之上政子(15期)
島崎充代(27期)

同窓会第3回バスツアーのご案内

同窓会行事として会員の皆様からご好評をいただいておりますバスツアーを、今回も計画致しました。

会員の皆様方の親睦を深め、懐旧を暖め、また、先輩、後輩の年代を越えての、母校河南高校で学んだ者同志の温かいつながりを広めていただける事を願って計画を立ててみました。

行 先: 播州赤穂・備前焼窯元・閑谷学校方面

赤穂: 赤穂城址・大石神社・赤穂市立歴史博物館

昼食: 赤穂御崎レストラン銀波荘

備前焼: 備前陶芸美術館・備前焼窯元自由散策

閑谷学校: 元岡山藩々校・特別史跡・国宝・重要文化財

日 時: 平成22年7月25日(日)

会 費: 5,000円

集 合: ① 河内長野ラブリール前

午前7時40分発

② 富田林駅北口ロータリー付近

午前8時00分発

解 散: 午後7時頃(交通事情により多少の遅延有り)

募集人数: 84名(バス2台分・トイレ付き)

応募方法: 同封のハガキに必要事項を記入のうえ返送して下さい。期限厳守をお願い致します。

平成22年6月23日必着(定員になり次第締め切りとさせていただきます。)

詳細連絡: 先着順により参加が決定した方には改めて詳細をご連絡いたします。ご連絡の届かなかった方は、定員オーバーによるものとご了承をお願いします。

問合せ先: 下記何れかをお願いします。

同窓会事務局 電話 0721-23-3321

(第1～第4水曜日13:00～15:30)

副会長 村上 電話 072-956-8274

会計監査 川之上 電話 0721-54-5270

平成22年6月1日

大阪府立河南高等学校
同窓会（たちばな会）会員 各位

大阪府立河南高等学校
同窓会（たちばな会）
会長 松井 利夫
大阪府立河南高等学校
校長 柳井 淳

大阪府立河南高等学校 創立100周年記念事業 募金趣意書

拝啓 青葉若葉のみぎり、河南高等学校同窓会（たちばな会）会員各位におかれましては、益々ご清栄のことごとく拝察申しあげます。

平素は、母校及び同窓会の為に何かとご協力ご尽力を賜り誠に有り難うございます。厚く御礼申しあげます。

さて、かつて同窓が学び多感な青春時代を過ごした、母校河南高等学校は、平成24年をもちまして、創立100周年を迎えることとなります。

これは、母校の前身である南河内郡立実科高等女学校が設置された明治45年4月1日をもって創立としているものですが、実は、明治初期に既に母校の萌芽が表れております。明治8年に開設された富田林女紅場の開設がそれであり、女紅場というのは明治初期における女子教育機関で、これが明治39年4月に富田林高等小学校付設裁縫学校となり、更に明治45年の南河内郡立実科高等女学校につながる訳であります。

その後も、母校は数度の改編を経て、昭和3年には大阪府立富田林高等女学校となり、戦後、昭和23年、学制改革により大阪府立河南高等学校として発足し現在に至っております。

かくのごとく、伝統校たる母校河南高等学校が、歴史にあふれ、石川の清流に育まれた、緑豊かで風光明媚な富田林の地に初めて産声をあげた明治8年から数えると、本年度既に130有余年の誠に貴重な歴史を持つこととなります。

この間、母校は明治初期から平成の今日に至るまで、南河内地域における師弟の教育に貢献しつつ、大いなる伝統を培い、歴代教職員の方々の懸命のご努力と地元及び関係各位のご支援ご尽力のもと、多数の卒業生を送り出し、多くの有為の人材を輩出し、社会の様々な分野で活躍されておられますことは誠に喜ばしく、同窓生はもとより関係者一同にとりまして、誠にご同慶の至りであり又誇りでもあります。

この度、母校河南高等学校が、記念すべき100周年を迎えるにあたり、河南高等学校同窓会、学校、PTA、校章会、くすの木会及び後援会は一致協力し、大阪府立河南高等学校創立100周年事業実行委員会を組織し、母校100年に及ぶ貴重な歴史と伝統に思いを致すと共に、今後も誇りある伝統を積み重ね、母校発展のよすがとする為、後記のごとく記念事業を実施することとなりました。

つきましては、同窓会として当該記念事業に対する募金を募らせて頂きたい、同窓会会員各位におかれましては、本計画に何卒ご賛同のうえ、ぜひとも募金にご協力賜ります様、切にお願い申し上げます。

時節柄、諸般何かとご負担の厳しき折とは存じますが、母校の更なる発展のため、誠に恐縮ながら格段のご支援と暖かいご協力を頂きますよう伏してお願い申し上げます。どうか宜しく申し上げます。

敬具

1. 募 金 要 項

◎ 期 間 平成22年6月1日～平成23年5月31日まで

◎ 金 額 1口 5,000円（何口でも結構です。1口以下の金額でも拝受申し上げます。）

◎ 送 金 同封の振込用紙を使用して郵便局にお振り込み下さい。振込料は不要です。

※ 4口以上のご寄付者に記念誌を贈呈。更に記念式典・祝賀会のご案内を申し上げます（但しこの分は予定）。

2. 記念事業の概要

(1) 教育環境・施設の整備（視聴覚教室の整備充実、特別教室の整備充実、クラブハウスの整備充実、クラブ活動の支援、駐輪場の整備、同窓会館の改修その他）

(2) 100周年記念誌の発行（平成24年11月発行予定）

(3) 100周年記念式典・祝賀会の開催（平成24年11月開催予定）

各期からの便り

「青春の故郷」に帰って

10期 杉本 孝

天王寺の東映ホテルで笹尾先生をお迎えして、十期生全員の「古希を迎えて」の同窓会を開催いたしました。丁度、一週間前に一組と二組のクラス会をされた関係で多少



参加者は少なくなりましたが、六十五名の参集を頂き大変盛り上がりました。クラスによつては「還暦の同窓会」以来だったので再会した懐かしさの興奮を隠しきれず時間の経つのも忘れ「我が青春の故郷」へかえったような感じでした。

人生の一番多感な三年間を同じ学舎で学んだ縁は一生涯、切れるものではなく、歳と共に懐かしく思い出されるものです。この縁を大切に、同窓の集まりは「我が青春の故郷」だと思ひ大切にしたいものです。

その一方で、多くの旧友が鬼籍に入ったことを知り大変残念ですが、このことを聞いて、各自の健康保持に、再認識を致しました。二年後の再会を約束して当日は楽しく解散を致しました。

その後、十一月の末頃、誰からともなく、正月に

新年を共に祝おうとの話が出て、気楽な会合を一月二十二日(金)に河内長野の長野荘で行いました。個々の呼びかけにもかかわらず、約三十名が新年を共に祝いました。

時の

美しいかけら

12期 新谷 幸子

校庭を吹き抜ける暖かい風に、木々がいつせいに葉裏を光らせた春の日。草が色を失い、すすきの花穂が白くふくらんだ秋の西山の細い道。私達にとつては懐かしい河南高校の三年間であった。

時を経て、二〇〇九年十一月十一日、大阪の日航ホテルに十二期生七十六名の集いがあつた。卒業五十周年記念の同窓会である。

照明が落ちたなか、鬼籍に入られた方々の為に、長い黙祷……。その魂が笑顔で私達を見ていると念じていた。いづれ、彼岸に行った時は快く迎えて欲しいと願う年令になっ

ている。

やがて煌煌とした会場で組別に分けられたテーブルで乾杯する。それぞれ、体型や、顔かたちが変わっていても、すぐ、十代の少女少女に戻っていった。何回か同窓会で会つていても、初めて出席した人も同じである。現在の境遇にさして興味は無い。愛称を呼び合い、食堂でうどんをすすつていた姿を思い出す。

今から思えば戦後から、たった十二年である。私達も若かったが、日本もまだ若かった。日本中が豊かさは程遠かった。幹事会幹部の方々、ホテルの気配りにより料理も結構なものであつた。例えばウメマダイのポワレには、バターとポン酢を程よく合わせたソースが添えてあり、さっぱりと口当たりが良い。

余興は同期の方々が見事な演目で進行する。次いでたちばな会の協賛によりピアノまで持ち込まれた。名曲のハーモニイに会場はうつとりと酔う。校歌合唱には肩を組ん

で歌っている男子もいた。白髪まじりの立派な中年男性に〇〇クンと呼ぶ不思議さよ。

万歳三唱は、意気の良い女性リーダーだ。うれしい。声高らかに全員が和す。

これからの一日一日を誠実に生きようと、ちよつと照れ臭いような思いにかられたのは、私だけだろうか。



バスツアー

15期 小倉 朋代

平成二十一年九月二十八日、伊勢方面日帰りバスツアーに旧友と共に参



加しました。幹事の皆様の周到な準備による集合場所にて、懐かしい同窓の方々との再会。歳月を経ての不安も解消し、先発乗車の学友の笑顔に合流し青春時代の頃にタイムスリップしました。昔語りには花が咲き、車中にては心づくしの接待をいただき、楽しい修学旅行の感じで会場に到着。伊勢近隣在住の方の御尽力にて、新鮮な海の幸の宴席にて作りたてを賞味させて頂いた。クラスごとの自己紹介と旧交を温め

ました。スペイン村にて
想い出を写し、道中雨天
の中、名ドライバーと若
きガイド嬢のテキパキシ
た案内のもと、楽しくカ
ラオケに興じつつ無事帰
着しました。改めて幹事
の皆様と同窓の方々との
楽しい時を共有させてい
ただき、和やかな佳き日
を感謝することでした。

入学の きっかけ

24期前田晴夫

私は、昭和でいうと四
十四年の入学ですが、河
南高校を選んだきっかけ
は、“階段”でした。先
に富田林高校を見てばっ
としな印象だったのだ
ですが、河南高校は正面
から見た瞬間、なんと近代
的で素敵な学校なのかと
驚きました。まだ木造の
校舎も多かった時代なの
ですが、正面からコンク
リートの大きな階段が二
階へ伸び、そこが正面入
り口になっていました。

一目で気に入った私は、
試験も合格し、うきうき

と入学したのですが、な
んと学校の一部が生徒に
占拠・封鎖されていたの
です。当時は安保闘争を
はじめ学園紛争が茶飯事
で、テレビでは見ていた
のですが、身近で見たの
は初めてでした。

学園紛争に批判はある
と思いますが、当時若者
たちは未熟なりに自分の
知識や経験をもとに仲間
で大議論をし、その主張・
エネルギーをぶつけてい
きました。

彼らと今の子供たちを
比べると、今の子供たち
はいい子が多いのですが、
将来を考え主張すること
や、リーダーシップを発
揮すること、共動すること
に欠けています。なぜそ
うだったのかは簡単です。
高度経済成長や受験戦争
という理由はあったので
すが、親たちが教えてこ
なかつたのです。さらに
最近携帯電話やゲーム
機の悪影響が顕著です。
私はキャンプが好きなの
ともあって、十年ほど前
から地元で青少年指導員
をしており、子供たちと

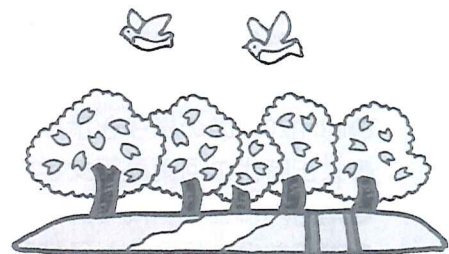
60期同窓会

60期保田堯之

私たち六十期生は、二
月二十一日にすばるホー
ルで同窓会を開きました。
先生方を併せ一八〇人と
大規模なものとなりました。
内容としては、立食
を中心とする中でスタン



関わっていますが、これ
からも“子供たちは地域
が育てる”をモットーに
地域に貢献していきたい
と思います。



ツやビンゴゲームをして
楽しみました。そしてそ
の最後には、今年定年を
迎えられる石田公男先生
へのセレモニーが催され、
感動で同窓会を締めるこ
とができました。

同窓会を成功に終わら
せることができたのは、
卒業生が河南に多くの思
い出を持ち、何より愛着
があるからこそだと心底
思います。

この度の同窓会開催に
尽力して下さった同窓会
委員を中心とする方々に
心より御礼申し上げます。

緑の健康都市河内長野

グリーンデンタルクリニック

新宅歯科医院

新宅雅文
(8期生)

〒586-0091 河内長野市北貴望ヶ丘1番18号
TEL (0721) 54-1582
FAX (0721) 54-1583

身体障害者特別診療設備
在宅・往診・対応可能

診療科目

内科・外科・循環器科・整形外科・心臓血管外科
呼吸器科・リハビリテーション・人工透析・歯科
消化器科・リウマチ科・放射線科

(医) 淳康会 堺近森病院

理事長 近森淳二 (3期生)

堺市堺区北清水町2丁4番1号 TEL 072-227-8001 *浅香山駅下車西南徒歩3分(13号線沿い)

診療科目

内科・循環器科(人工透析)・外科・整形外科

(医) 淳康会 近森診療所

西成区岸里1丁目3番24号 TEL 06-6651-7001
*天下茶屋駅前徒歩2分
*地下鉄四つ橋線岸ノ里駅3分

石づくり100余年

石碑・建築石

福田石枝工業(株)

代表取締役 筒井京子
(15期生・旧姓 福田)

富田林市南大伴1-3-25 ☎ (0721) 25-4114
フコリョイ

文化財修復

表装・襖・屏風・木製建具・内装工事



株式
会社

松井春峰堂 松井利夫
(5期生)

本店 〒584-0032 富田林市常盤町8番34号
TEL 0721(23)2701(代)
FAX 0721(26)0105

平成22年6月1日

保護者の皆様へ

河南高等学校創立100周年記念誌委員会

100周年記念誌編纂の資料提供のお願い

平素は本校の教育活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
早速ですが、本校は平成24年(2012年)に創立100年を迎えます。その記念事業の一環として100周年記念誌の発行を決定し、昨年より編纂作業を進めております。

本校では明治45年の創設以来多くの卒業生を輩出して参りましたが、在校生の保護者の方や、その親族の方々にも卒業生が少なくありません。100年の大きな節目を迎えるにあたり、卒業生の方々がお持ちの「集合写真、授業の様子、校舎、教室などの写真」・「校内新聞、案内状などの印刷物」・「通知表やテスト」・「当時の制服」などの本校に関する資料も活用させていただきたいと考えております。特に以下に示しましたような資料がございましたら、是非お知らせいただきますようお願いいたします。

もちろん、個人のプライバシーに関わる点につきましては最大の配慮をいたします。

【特に提供いただきたい資料】 一年代降順

- 河南工業高等学校(現 藤井寺工科高校)定時制に関する資料 [昭和41~42年]
- 松原分校に関する資料 [昭和26~41年]
- 昭和23年当時の富田林女学校(現 本校)と富田林中学(現 富田林高校)との男女共学実施時の資料
- 昭和20年頃の様子を示す資料
- 大正時代の河南高等女学校(南河内郡立河南高等女学校も含む)に関する資料
- 南河内郡立実科高等女学校に関する資料 [明治45年~]
- 本校前身の組合立女子技芸学校に関する資料 [明治43年~]
- 本校前身の富田林高等小学校附設裁縫学校に関する資料 [明治39年~]
- 富田林女紅場に関する資料 [明治8年~]

また、前述の通り在校生のお身内にも本校卒業の方が多く、親子四代に渡って河南高校の卒業生であるという方もおられるそうです。このような方がおられましたら、是非お話を伺いたいと考えておりますので、下記までお知らせ下さい。

連絡先：大阪府立河南高等学校100周年記念誌委員会(担当：数学科 秦)

電話：0721-23-2081 FAX：0721-23-2071

河南高校のウェブページ(<http://www.osaka-c.ed.jp/kanan/>)にも同様の内容を掲載しております。ホームページ内の『100周年に向けて 絆』(←画像)をクリックしてご覧下さい。E-mailでの連絡も受け付けております。

平成20年度・21年度 賛助金ご協力者芳名録

敬称は省略させて頂きます

旧職員	浅井	野川	はる	女3	田永	嶋長	テ澄	イ代	高9	樹清	林井	雅博	生子	高1	東時	上野	剛子	高2	四牟	田永	泰成	久光
職員	井石	崎田	右男	35	永中	村田	悦寿	子子	99	金柴	銅田	幸三	子子	15	塔中	本野	昇元	26	泰島	崎本	成充	光代
旧職員	磯井	上藤	義美	35	西福	田西	睦孝	子子	99	中羽	野玉	三智	子子	15	中中	野野	子子	27	島野	谷川	知理	史子
旧職員	加木	本伯	子代	35	房山	本口	孝秀	子子	99	向浅	井田	己寛	子子	15	中林	野野	子子	27	長谷	上浦	真恵	子大
旧職員	佐菅	谷書	男郎	1	今福	西住	孝悦	子子	10	安石	達井	美節	子子	15	東分	尾才	子子	28	大北	浦村	尊秀	男幸
旧職員	岡月	岡野	次夫	2	目井	関西	佐恭	子子	10	岡杉	井田	清和	子子	15	松屋	井納	子子	28	上浦	野坊	利	正男
旧職員	中岡	林藤	清信	3	中伊	藤野	朝朝	子子	10	中中	本井	勝悦	子子	15	橋休	本場	子子	29	中黒	島井	網幹	也恵
旧職員	井上	井上	忠夫	4	奥郡	鶴村	信悦	子子	10	中中	島野	ほ光	子子	16	矢柳	田川	子子	29	時藤	井吉	千利	郎已
旧職員	並田	藤淵	孝代	4	村以	身本	延包	子子	10	西本	田口	悦知	子子	16	泉大	並西	子子	30	藤松	山保	一雅	子子
旧職員	野上	美森	太郎	5	石植	倉田	延包	子子	10	安山	田口	知度	子子	16	小柳	桑西	子子	30	守信	山保	幸久	子子
旧職員	松浦	山松	工子	5	植植	木條	包弘	子子	10	北立	川部	明享	子子	17	泉大	桑西	子子	31	浜磯	仲江	敏容	子子
女15	西谷	谷田	工子	5	大樺	島田	則弘	子子	11	立松	永野	邦祐	子子	17	高前	南三	子子	32	磯仲	川水	久敏	子子
女17	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	11	松永	田本	勝純	子子	17	高前	南三	子子	32	西出	山壁	智み	子子
女18	西谷	谷田	工子	5	大樺	島田	則弘	子子	12	松永	田本	勝純	子子	17	高前	南三	子子	33	根松	川本	ゆ義	子子
女19	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	12	松永	田本	勝純	子子	18	高前	南三	子子	34	川崎	川崎	裕佳	子子
女21	西谷	谷田	工子	5	大樺	島田	則弘	子子	12	松永	田本	勝純	子子	18	高前	南三	子子	35	川崎	川崎	瑞	子子
女22	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	12	松永	田本	勝純	子子	18	高前	南三	子子	36	川崎	川崎	和幸	子子
女24	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	12	松永	田本	勝純	子子	18	高前	南三	子子	36	川崎	川崎	美三	子子
女26	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	12	松永	田本	勝純	子子	18	高前	南三	子子	36	川崎	川崎	智与	子子
女26	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	12	松永	田本	勝純	子子	18	高前	南三	子子	36	川崎	川崎	智与	子子
女27	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	12	松永	田本	勝純	子子	18	高前	南三	子子	37	川崎	川崎	佳敦	子子
女29	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	12	松永	田本	勝純	子子	19	高前	南三	子子	38	川崎	川崎	敦宏	子子
女29	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	12	松永	田本	勝純	子子	19	高前	南三	子子	42	川崎	川崎	達達	子子
女30	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	19	高前	南三	子子	43	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	20	高前	南三	子子	44	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	49	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	50	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	52	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	54	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	55	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	56	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57	川崎	川崎	達達	子子
女31	西谷	谷田	工子	5	須泰	中保	由史	子子	13	松永	田本	勝純	子子	21	高前	南三	子子	57</				

事務局からの便り

同窓会の活性化に向けて、種々の取り組みが行われているが、毎年の主な事業の概要は次のとおり。

同窓会の活性化に向けた取り組みの一つとして、これまで、総務委員会、財政委員会、企画委員会の三専門委員会があったが、二年前、これに事業委員会及び組織委員会が追加された。事業としては、次の様な活動が行われている。

派遣、高等学校協議会への委員派遣、資質向上のための役員・幹事研修会の実施、地域に対する社会貢献と本会のPRのための石川河川一斉清掃への参加、同じく寺内町灯籠祭りへの参加、河南フェスティバル、体育祭、卒業式等への役員の参列、新規卒業者のクラス同窓会幹事の選出、新規卒業生の同窓会入会式の実施、会報の発行、会員名簿消息調査、会員名簿更新作業、輪番制による事務局当番出務等々である。また、会議の開催については、運営協議会、運営委員会、事務局

個人情報の取り扱いについて

名簿等、会員の個人情報については、会報の送付、総会開催連絡等の他、同期会、クラス会及びクラブ会等の同窓会開催に伴う情報提供等、本来の同窓会活動の為に使用し、その他の目的には使用しません。また、第三者に提供することはありません。もし、上記同窓会会員の範囲内であっても、名簿等の情報提供を拒否される方は、事務局まで書面にてお申し出下さい。

事務局からのお知らせとお願い

会議、編集会議、専門委員会の会議が随時開催されている。このうち、運営委員会は、毎月一回、定例会議として開催されている。

◎ 結婚、転居、物故等で異動が生じた場合は、事務局までご連絡下さい。

◎ 会員名簿の正確性維持の為、消息不明会員の情報提供をお願いします。

◎ 同期会、クラス会、クラブ会等の名簿を作成されたときは、事務局へも一部ご提供下さい。

◎ 編集作業、事務局のお手伝いを頂ける方は事務局までご連絡下さい。

◎ 幹事不在の期について、自薦、他薦を問わず候補の情報をお知らせ下さい。

◎ パソコンデータベースソフト「アクセス」が扱える方で、事務局のお手伝いの可能な方の情報をお待ちします。

◎ 会報への広告掲載をご協力頂ける方は、事務局までご連絡下さい。

名簿における氏名等の通用字体以外の取扱について

氏名等に、旧字、異体字等、通用字体以外の文字が使用されている場合、又はJIS（日本工業規格）漢字コードの第1水準・第2水準以外の文字が含まれる場合等は、名簿管理上のコンピュータのデータベースシステムの都合上、便宜的に、JIS基準内の新字体、常用漢字又は人名用漢字にある正字に置き換えて表示している場合があります。又、これらに置き換えできない場合は、類似の文字に置き換えたり、カタカナ表記としている場合がありますので、ご了解下さい。

編集後記

母校創立一〇〇周年が近づいてきた。あと二年である。▼記念事業を実施する為の実行委員会も組織され、活動を開始している▼今号の会報は、一〇〇周年特集号とした。▼この為、「懐かしの恩師はいま」シリーズは、今号で終了する。

◎ 事務局への連絡は、第五週を除く毎週水曜日の午後一時から同四時までの間をお願いします。この間、役員等が詰めています。事務局所在、電話等は、題字横に有ります。

ズは、今号は休載としたが次回ご期待を▼一〇〇周年記念誌編集委員会からの依頼で、記念誌編集用の古い資料を求める記事を掲載したので、学校だよりの頁も紙面の関係で今号は休載とした▼これまで同様、今回も、この会報の発送作業は、数十名の会員にお手伝い頂き、手作業となる▼会報二万二千通の封入発送作業のお手伝いを頂く会員諸氏に心から感謝▼毎度の事ながら、この努力に免じて万一発送遅延の場合は、ご容赦を。
(編集委員長 一五期 芝池 正明)

金剛山麓

千早川

マス釣場・川魚専門レストラン・しゃくなげ園

大阪府南河内郡千早赤阪村千早
☎0721-74-0116
http://chihayagawa.jp.

井関 醇一 (18期生)

社会福祉法人 一 梅 会
ケアハウス 春 の 家
特殊養護老人ホーム千早赤阪春の家

理 事 道田 憲逸 (18期生)



〒585-0052
富田林市大字佐備2497-5
TEL 0721-33-2940
FAX 0721-33-2950

OA機器・紙製品・スチール・各種印刷

株式会社 えじま

恵 島 明 (14期生)

携帯 090-8825-9664

〒584-0021 大阪府富田林市中野町3-3-20
事務用品 TEL:0721-25-6767 FAX:0721-25-6768
包装資材 TEL:0721-24-0424 FAX:0721-24-5381